

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立こども病院では、2024年7月23日付けで倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	当院で手術を行った胆道閉鎖症術後患者の予後に関する検討
研究機関名	静岡県立こども病院
研究責任者	福本弘二
研究期間	2024 年 6 月 ～ 2026 年 3 月
対象者	1978年から2024年6月までに当院で胆道閉鎖症に対し手術を行った患者様
当該研究の意義・目的	胆道閉鎖症は乳児期早期に見つかる疾患で、閉塞性黄疸を来とし、治療法は肝外胆管由来の索状物の切除および肝門部空腸吻合による外科治療(葛西手術)しかありません。葛西手術術後の黄疸改善率(減黄率)は8割以上と、比較的良好ですが、長期的に見ると反復する胆管炎や門脈圧亢進などにより肝移植が必要になる患者が約半数におよぶとの報告があります。 一方で胆道閉鎖症術後の長期成績に関連する因子の探索を行った研究は多くは無く、周術期および術後遠隔期どのような要素が長期的予後に関連するのか未だ十分に解明されたとは言えません。 本研究では当院で胆道閉鎖症に対し手術を行った患者様の臨床経過を検証し、手術後の問題と関連する因子を探索することを目的とします。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録(カルテ)および手術で切除された組織検体から次の情報を調査します。 ・背景因子(性別、合併した疾患など)、 ・臨床データ(検査結果など) ・転帰(症状の有無など)
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。

資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立こども病院 小児外科 三宅 啓 代表 054-247-6251